

書名	神さまどうぞよろしくお願ひ申し上げます			著者名	柴山壽子／著		
出版社	ごま書房新社	ISBN	978-4-341-08662-6	本体価格	¥1,400	発売	2017/4/1
内容	神社の基本知識、参拝の方法、神棚の祀り方…儲かる社長の神事のルール。						

書名	知っておきたい！日本の「世界遺産」がわかる本			著者名			
出版社	メイツ出版	ISBN	978-4-7804-1872-9	本体価格	¥1,630	発売	2017/4/22
内容	日本国内にあるすべての世界遺産を紹介する小学生向けの1冊。歴史背景や登録時に評価された点も解説。						

書名	新説 応仁の乱【別冊宝島】			著者名			
出版社	宝島社	ISBN	978-4-8002-6986-7	本体価格	¥1,300	発売	2017/4/14
内容	近年、注目を集めている「応仁の乱」。歴史研究者たちの中で「室町時代の政治史」が注目を集め、従来のイメージを塗り替える新たな研究が発表され、ホットなテーマとなっています。本誌は応仁の乱研究の最前線で活躍する論者たちによる、さまざまな新説、新たな視点を紹介。なぜ戦国時代が始まったのか、なぜ足輕が誕生したのか、当時の日本が高度成長期にあった事実を明らかにしながら応仁の乱の真実に迫ります。						

書名	天皇側近たちの奈良時代			著者名	十川陽一／著		
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-05847-6	本体価格	¥1,700	発売	2017/4/20
内容	古代日本における天皇の側近とは、いかなる存在だったのか。都造りなど天皇周辺の事業から手がかりを探り、藤原・阿倍氏らが担った内臣の職の起源と展開を軸に、聖武天皇・光明皇后を中心とした人間関係などを読み解きながら側近の具体像に迫る。天皇家と律令制の構造の中で側近たちが果たした役割を位置づけ、彼らを通して古代国家像を描く。						

書名	古地図からみた古代日本 土地制度と景観			著者名	金田章裕／著		
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-06725-6	本体価格	¥2,200	発売	2017/4/15
内容	日本は世界でも希有な古代の地図が多く伝存する。それらを現在の地形と照合し、山川・地形・耕地・建物の形態と彩色を分析。文献史料を合わせていかなる意図で描かれているのかを探り、景観と土地計画の実態に迫る。						

書名	神楽が伝える古事記の真相			著者名	高見乾司／著		
出版社	廣済堂出版	ISBN	978-4-331-52088-8	本体価格	¥1,000	発売	2017/4/1
内容	アマテラスやウズメ、海幸彦など、『古事記』でおなじみの神々が登場する神楽。しかし、『古事記』の物語をそのままなぞっているわけではない。日本列島には、大和政権の担い手である渡来民がやってくる以前から、自然と共生して暮らしてきた人々がいた。その先住民の伝承—縄文にまでさかのぼる古層の記憶や、渡来民との衝突と和解の物語—が、神楽にはひそやかに織り込まれている。						

書名	消された古代史			著者名	松尾清／著		
出版社	梓書院	ISBN	978-4-87035-597-2	本体価格	¥1,100	発売	2017/4/1
内容	古事記、魏志を読み解いて古代史の謎に迫る。						

書名	日本の神様解剖図鑑(仮)			著者名	平藤喜久子／著		
出版社	エクスナレッジ	ISBN	978-4-7678-2296-9	本体価格	¥1,600	発売	2017/5/30
内容	解剖図鑑シリーズ最新作！！日本で古来より信仰されてきた神様たちを大解剖！！古事記、日本書紀に登場する日本をかたちづくった神々から、大地・精霊信仰に結びつく民間信仰、仏教と習合した神々、そして災いをもたらす異形の神々、さらには商売繁盛、恋愛成就などの、現世利益信仰が生み出した神様まで、日本の神様たちを「解剖図鑑」ならではの図解で詳しく紹介します。神様の相関図付きなので、それぞれの神様の関係性も一目でわかる！！日本人の生活に深く溶け込んでいる神様たちについて親しく知ることで、日々の暮らしがきっともっと豊かになります。						